

有明海再生対策の推進

昨年と比べ6割の生産量となった有明海のノリ不作等を踏まえ、関係漁業者が将来に明るい展望を持てるよう、漁場改善対策等を推進。

2,232(1,478)百万円※

1 ポイント

(1) 有明海における漁場環境改善対策等の推進

- ① 水産基盤整備事業（公共） 1,500(1,025)百万円※
有明海の再生を図るために、覆砂、たい積物の除去、干潟の造成等を推進する。
※実施協議で確定

- ② 海面養殖業高度化推進対策事業（拡充） 409(243)百万円
養殖漁場の環境改善を図るとともに、共同利用機器の整備等ノリ養殖業の経営高度化対策等を推進する。

(2) 赤潮対策の推進

- ① 赤潮防御技術開発・実用化試験事業（新規） 30(0)百万円
赤潮防除に関する手法について、公正かつ科学的に検証するとともに、その開発・普及を支援する。

- ② ケイ藻赤潮発生被害防止対策事業（新規） 15(0)百万円
ケイ藻赤潮による漁業被害を最小限に食い止めるため、知見の乏しいケイ藻に関し、各種データを収集し、予察技術等の開発を促進する。

- ③ 閉鎖性海域赤潮被害防止対策事業（新規） 40(0)百万円
各閉鎖性海域の特徴を踏まえた赤潮被害防止対策を確立するため、各海域毎に赤潮に関する総合的な調査を実施する。

(3) 有明海再生のための技術開発研究の推進

- ① 先端技術を活用した有明ノリ養殖業強化対策研究事業（新規） 55(0)百万円
品質に関する遺伝子の機能解析等を行い、安定的に高品質なノリを生産する品種改良技術を開発する。

- ② 提案公募型有明地域等振興対策研究開発事業（拡充） 147(210)百万円
環境監視システム、ノリ網洗浄技術等有明地域等の漁業振興等に資する技術について、民間の知見を活用して即効性のある研究開発の推進する。

- ③ 有明海環境情報・研究ネットワーク構想策定事業（新規） 36(0)百万円
有明海全体にわたる環境変動に的確に対応するため、調査・研究体制を検討するとともに、データベースの開発を推進する。

2 事業実施主体 都道府県、民間団体等

3 補助率 定額、1／2等

[担当窓口課：水産庁栽培養殖課]